



にかほ 市議会だより

5.1

2011
vol.24



4月17日に開催された「おらほのグルメ祭り」

3月定例会

平成23年度各会計決算・平成22年度各会計補正予算	2
会派代表質問	4
一般質問	6
陳情結果	10
議会活動	11
質疑、討論	12
夫婦町「松島町」をお見舞い	14
委員会審査報告	15

東日本大震災を教訓として

にかほ市議会議長 佐藤文昭

未曾有の被害をもたらした、東日本大震災から一ヶ月が経ちました。

死者・行方不明者数は我が国の大震災では最大になつていて、今回の巨大津波による甚大な被害は、一般家庭はもとより公共施設等の損壊、道路・鉄道・電気・水道のライフラインの寸断、加えて福島原子力発電所の災害の発生など戦後最大の危機であります。

尊い命を失われた皆様に深く哀悼の意を捧げます。被災地の皆様には、この苦難を乗り越えて一日も早く復興に向い、平穏な日が訪れる事を願つております。



▲松島町議会 櫻井議長



▲松島町大橋町長から説明を受けました。

島町は湾内に点在する島々が緩衝となり、津波の勢いを弱めたため他の三陸沿岸地域と比べ被害は少ない状況でした。しかし、東松島市での被害は報道による私の認識とは違い、その実態に驚愕しました。

日々の映像を見るたびに、私は一人ひとりが、自分に出来るところから支援の輪を広げいかなければならぬ、と思ひます。

今回の震災は、自分達の防災体制をもう一度点検する契機となりました。また、住民同志の絆、互助の力を持ち続けていくことの必要性を強く学んだところであります。

3月定例会

平成22年度各会計補正予算 平成23年度各会計予算 が、可決されました

第2回3月定例会は、2月24日から3月18日まで、23日間の会期で開かれ、平成23年度各会計の予算や平成22年度一般会計補正予算をはじめ、議案41件が提出されました。

平成23年度一般会計予算及び平成22年度一般会計補正予算については、特別委員会に審査を付託し、最終日の本会議において委員長報告を行い、平成23年度各会計予算9件、平成22年度各会計補正予算14件が原案のとおり認定・可決されました。

このほか、条例の一部改正、本荘由利広域市町村圏組合規約の一部変更等の議案が提案され、いずれも可決しました。また、陳情については5件提出され、2件が採択、1件が1部採択、2件が不採択になりました。

採択された陳情2件については、意見書を関係機関に送付しました。

平成23年度各会計の予算と平成22年度各会計の補正予算については、左の表のとおりです。

3月定例会（2月24日～3月18日）

平成22年度 一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計		15,580,889	△ 61,513	15,519,376
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,165,594	△ 109,250	3,056,344
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	74,384	500	74,884
	後期高齢者医療特別会計	254,108	△ 21,750	232,358
	簡易水道特別会計	277,428	△ 25,718	251,710
	老人保健特別会計	5,363	△ 1,400	3,963
	公共下水道事業特別会計	1,211,582	△ 11,000	1,200,582
	農業集落排水事業特別会計	385,889	△ 4,705	381,184
計		5,374,348	△ 173,323	5,201,025
合計		20,955,237	△ 234,836	20,720,401

(単位:千円)

事業別		項目	既決予定額	今回補正予定額	合計
企業会計	ガス事業	収益的支出	552,796	△ 328	552,468
	水道事業	収益的支出	450,829	△ 1,419	449,410
		資本的支出	485,569	△ 36,788	448,781

平成23年度 一般会計・特別会計予算

(単位:千円)

会計別		平成23年度	平成22年度	比較増減額
一般会計		13,323,000	14,222,000	△ 899,000
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,042,400	3,086,949	△ 44,549
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	75,000	74,650	350
	後期高齢者医療特別会計	235,934	254,108	△ 18,174
	老人保健特別会計	-	1,571	-
	簡易水道特別会計	97,291	275,727	△ 178,436
	公共下水道事業特別会計	1,076,527	1,363,350	△ 286,823
	農業集落排水事業特別会計	536,400	381,990	154,410
計		5,063,552	5,438,345	△ 374,793
合計		18,386,552	19,660,345	△ 1,273,793

(単位:千円)

事業別		項目	収入	支出
企業会計	ガス事業	収益的	433,153	586,854
		資本的	61,521	114,631
水道事業	ガス事業	収益的	479,166	443,687
		資本的	106,850	271,099

4月臨時会（4月8日開催）

平成22年度 一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計（専決第7号）		15,519,376	335,564	15,854,940
簡易水道特別会計（専決第8号）		251,710	△ 250	251,460

平成23年度 一般会計補正予算

(単位:千円)

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計（第1号）		13,323,000	27,661	13,350,661

会派代表質問

同好の会
響



佐藤 元

創明会



加藤 照美

観光物産施設等の整備構想について

平成23年度予算編成について
質問 平成23年度予算の重点施策と行財政改革推進に当たつての三つの必要要素、経済性、効率性、有効性に合致しているのか伺います。

市長 現状の厳しい社会経済情勢を踏まえながら、少子高齢化対策などの福祉の充実、教育環境の整備、農林漁業や商工業、観光などの産業振興、雇用の拡大を図る施策などに重点的に予算を配分したところあります。

財源については、市税の減収あるいは地方財政対策における臨時財政対策債の大幅な減少など財源確保に厳しいものがありましたが、不足額については財政調整基金を繰り入れることにより編成をしたところです。

総合発展計画の策定について

たいと考えているのか伺います。

市長 来年度、前期基本計画の進捗状況の把握と分析を行ない、新たな政策課題の分析を踏まえて、より実効性のある計画として策定してまいります。

総体的にはおおむね順調に取り組むことができたと思っています。

中長期的財政の見通しについて

質問 健全な財政運営に資するために基金積み立てのルールは現在十分と考えられるか伺います。

市長 本市の基金は、大型公共施設の整備など特定の目的を計画的に実施できるよう議会の議決を経た条例の定めるところにより、基金を積み立てているところであります。

活力ある商工業の振興について

質問 共同受注システム構築委託事業の今後の計画はどうなっているのか伺います。

市長 平成23年度は事業化に向けた適否を判断する年となります。

商工会等関係機関と連携を取りながら、継続の判断について相談していきたいと思っています。

質問 平成23年度で前期基本計画が終了しますが、実績をどのように評価しているのか、前期の課題と取り残した項目を後期基本計画にどのように反映させ

活力のある産業のまちづくりについて

質問 政権交代による農政転換で集落営農は担い手としての位置づけが揺らいでおります。

集落営農の立ち上げから5年、現在の経営状況と法人化立ち上げ見通しについて伺います。

市長 現在28の組織が存在しており集落のおおむね半分程度が参加しております。

戸別営農方式を維持したまま共同販売経理を行いながら當農に関する国・県・市の助成金・補助金等の受け皿としての組織が大半であります。法人化の推進に当たりましては、集落内での話し合いを促すための方策に重点をおいて関係機関が連携して検討会や研修会などを開催し理解を深め、その中から重点組織を位置づけて指導する体制をとっています。

第二次行財政改革大綱について

質問 平成22年に第2次行財政改革大綱を作成し、生活サポート事業が民間委託されました。また元の雇用体系に戻ったということは他の項目についても直しを考えているのか伺います。

質問 観光物産施設等整備構想の中でも市民の意見を聞きながら「ねむの丘」などに検討していますと述べていますが、金浦地区に「ねむの丘」にこだわらずに検討するお考えなのか伺います。

市長 整備箇所の選定については、規模の大きな駐車場が整備され誘客対応機能がある道の駅「ねむの丘」に集約することが観光推進の観点からも得策ではないかと考えています。

しかしながら具体的に整備計画を進めるに当たっては一般市民などが参画する検討委員会を設置し十分な議論と意見交換を行ふことが必要であると考えています。

が期待できるものについては委託を推進していきたいと考えています。

政策研究クラブ



菊地 衛

未利用財産の処分について

質問 市長は市政運営の基本方針の中で、第2次行革大綱に基づき、健全財政の維持と強化に努めることとしています。その上で重点項目に、未利用財産、不要資産の売却による管理コストの削減を図るとしています。未利用財産の処分は固定資産税の底上げ、自主財源の確保などに有効と考えます。当局の取り組みをお伺いします。

市長

市有財産の管理、有効利用については、公共公益的な目的を踏まえた上で、多角的な評価を行い、適切な処分に努めたいと思っています。

ごみ処理施設建設に向けた取り組みについて

質問 この事業は自治基本条例制定後、はじめての大型事業です。そこで条例の理念を鑑み、この事業の推進にあたり市民等との関係をどのように図るの

か、その基本姿勢を伺います。

日本共産党



村上 次郎

市政運営の基本方針について

そこで、ごみの減量化等に対応する知恵や行動のあり方を検討するための委員会等を立ち上げたいと思います。

質問 政府予算是市予算にも影響を与えます。政府予算の積極面やマイナス面をお尋ねします。

労働者派遣業務

委託事業について

質問 この中身の学校生活サポート事業は強く望まれ、市が他市町を牽引しており高く評価されています。ただ、民間委託

といふことでTDK親和と業務委託契約を結んだものの、1年も経たずに契約解消に至ったことは反省すべきです。そのうえで、今後この事業をどのように継続していくのか伺います。

市長 TD K親和とは1年契約でしたが、結果的には契約解消となつたことにお詫び申し上げます。

健康づくりについて

質問 虫歯予防として児童生徒の集団フッ素洗口を推進すると

していますが、教育委員会等の意見をどのように聞きましたか。

市長 当局及び教育委員会が連携して、歯科医師の講演を聞いたり、意見交換を行ったりなどしています。

生涯にわたる

将来見通しが不透明なものもあり、国の動向に適切に対応することが大切と考えています。

白瀬南極探検隊

100周年記念事業について

質問 陸上自衛隊中央音楽隊の演奏ではなく別の形にしていく

よう申し入れるべきですが、どうでしょうか。

市長 いろいろ考えはあると思いますが、陸上自衛隊中央音楽隊は日本最高峰の演奏で知られています。実行委員会では聞く人に潤いを与えてくれるような音楽にしたいと計画していると伺っています。

日沿道建設について

質問 自動車道建設で水路等が

影響を受けると思いますが、調査、把握をして関係者等に申し入れをしていますか。

市長 市は現状を確認した上で発注者に連絡をし、地権者などの説明会を開催するなどして問題解決に努めています。

金浦中学校の武道場の建設について

質問 金浦中学校武道場の建設に地元業者が多くなるような方針があるか、お尋ねします。

市長 建設は規模的に地元業者に発注できる範囲と考えています。受注業者にはできるだけ地元職人を活用するよう要請しています。

質問 陸上自衛隊中央音楽隊の演奏ではなく別の形にしていく

よう申し入れるべきですが、どうでしょうか。

市長 いろいろ考えはあると思

いますが、陸上自衛隊中央音楽

隊は日本最高峰の演奏で知られ

ています。実行委員会では聞く

人に潤いを与えてくれるよう

音楽にしたいと計画していると

伺っています。



小川 正文
議員

高速道路の 排水について

質問 高速が完成した場合、表面排水面積はどのくらいか、また、市はこのことをどのようにうけとめているか。

産業建設部長 高速道路の表面排水面積、これは用地買収面積でお答えしますけれども、金浦から仁賀保間、これが35万1,400m²になります。それから象潟から金浦間、これが38万1,700m²、合計面積で73万3,100m²になつております。道路部分については保水力がないため既存水路への流入、その速度が早まります。下流部には農地、あるいは集落が点在しておりますので、このことについて私は最も一番の心配しているところであります。

このことから、特に排水経路については設計段階から国土交通省と十分な打ち合わせを行つてきています。河川がある場合には、基本的に河川に排水することになります。また、地形の関係でどうしても既存の水路に排水しなけ

ればならない場合もありますけれども、国土交通省側でも設計の段階で排水系統調査並びに流量計算も行つております。机上計算でありますけれども、現在の排水路で十分対応できる計算になつております。

今後も引き続き工事が円滑に進むよう、工事完成後も問題が生じないよう、国土交通省側と地権者、関係機関と十分な調整を図つてまいります。



▶ 日沿道（両前寺付近）

3月定例会一般質問



竹内 賢
議員

予算編成にあたっての基本姿勢と事業決定について

質問 にかほ市の最高責任者として向こう一年間の行財政運営についての決意を伺います。

市長 本市の財政を取り巻く環境は、厳しい経済情勢により市税収の大幅な回復が見込めない状況にあります。

地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質地方交付税は減少し、国庫補助負担金の一括交付金の議論などもございます。

今後の地方に対する財政支援のあり方をどうしていくのかは、全く不透明な状況にあります。

合併特例債や臨時財政対策債などの借入額が増加して、平成22年度末では200億円を超えるというふうな起債残高となります。大変厳しい財政環境にあります。

新ごみ処理施設の建設、幹線道路整備の継続

など増大する行政需用と相反して厳しさを増す財政状況ではあります。持続可能な財政運営の実現に向けて、本市の第2次行財政改革大綱を踏まえて、行政運営のコスト削減に努めてまいります。市民生活への影響や緊急性などを踏まえながら、事業の選択と集中を徹底して、真に市民が必要とする事業を重点的に実施してまいります。

公債費の増加を抑制し、任意の公債費繰上償還にも取り組みながら将来負担の削減を図つてまいりたいと思っております。



▶ 現在の清掃センター



宮崎 信一
議員

除排雪計画について

質問 除排雪計画についてはもちろん綿密な計画の元に行われていると思います。今回のような大雪はそうあるとは思えませんし、またなるべくない方がよろしいかと思いますが、福祉を含むシミュレーションはあってよいのではないかがと思います。ぜひこの中に福祉課関連機関など横のつながりを少し密にして対応してはいかがかと思いますが、お伺いいたします。

市長 市では安心して暮らせる福祉のまちを基本方針の第一に掲げて高齢者と障がい者の生活支援について地域福祉計画に定め、福祉事務所、長寿支援班、地域包括センターが社会福祉協議会や民生児童委員などと連携してさまざまな事業に取り組んでいるところです。

この度の大雪には1月24日の雪害対策本部を設置しながら、自治会長さんや民生児童委員の皆さんに連絡を取り合って高齢者と障がい者などについての安否確認と高齢者除排雪支援チー

ムなどの協力による除雪等をお願いしてきたところであります。また情報の発信については2月1日に全世帯にチラシを配布したところでもあります。

今後については、今日の状況に合わせて福祉機関も考慮に入れて事前の対応策を検討してまいりたいと思っております。



▶除雪（排雪作業）のようす

3月定例会一般質問



池田 好隆
議員

エネルギー特区への取組みについて

市長 県はこの取組みについて広域的な連携を考えているようであり、にかほ市でも積極的に参加したい。にかほ市は風力や小水力など魅力的な地域と思う。「新エネルギー・ビジネス策定業務」が最終段階となっているので、適切な規模の組み

に取組む考えはないか。

市長 就業構造は大きく変わり製造業やサービス業で九割を超える就業の受け皿となつた。工業団地については財政負担など難しい問題もあるが、いずれ候補地を1カ所にしほり込み、当市における産業構造の構築をどのように図つてゆくか、その方向性について議会と協議したい。又地元企業の企業力を高めるためにも産学官と工業振興会との連携をすすめ、企業に物をつくつてもらうような橋渡しをする組織を今つくり上げようと考

質問 千葉大学がエネルギーの自給率の試算を明らかにした。それによると秋田県は十八、三%（全国二位）となつてお

り、県はこれを受けてエネルギー創出に向けた「総合特区」を国に提案した。本市も風力発電により八二%の自給率（県内第二位）で、更に小水力、太陽光発電、眠つている天然ガスなど可能性十分な地域、この事業への取組みは企業による創造や企業誘致、雇用の拡大も期待できる。積極的に取組む考えはないか。

質問 若者の流出や他産業からの移入などを考へたとき雇用の拡大は最大課題と思う。農業漁業の振興による受け皿もあるが企業誘致や地元企業の育成が柱になると思われる。秋田県では新エネルギー、環境、医療、福祉などの戦略産業を補助対象に追加した。誘致活動は、地域間競争である。用地選定を行ひスタッフの充実や人脈を活用するなど積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

質問 若者の流出や他産業から

合わせなどその取組みの方向性を見きわめて行きたい。

企業誘致と地元企業育成で雇用の拡大を



村上 次郎
議員

児童のフッ素

洗口は慎重に

質問 児童の集団フッ素洗口、これは慎重に行うべきでないかという立場で質問します。

本年度から市内の児童に対し学校で集団フッ素洗口を実施しようとしているようですがメリット、デメリットの周知を保護者、教職員にどのようにしてい

るでしょうか。正しい情報の提供、こういう意味ではデメリットについても知らせておくべきではないでしょうか。

次に従来行つてきた学校での集団予防接種も個々に実施するようになつておられます。具合が悪くなつた時の責任の所在はどこにあるのか。

薬事法とか学校保健法については学校で扱う際の法律上の問題はないのか。

実施学校視察等々、実施の有無を含めて十分な検討期間が必要だと思いますが、答弁を求めます。

市民福祉部長 デメリットは医師、歯科医師、薬剤師、学校関係者、PTAの理解と協力がな

いと、この事業は実施につながらないということが大きなデメリットとなつております。実施に当つて定められた手順、機材の管理方法、その他の注意事項を守つて行うことによつて害が起きた例はありません。実施に当つては実施する市や専門職の代表者、県や国がそれぞれの立場に応じて責任が生ずることはあります。

教育長 法律上では「フッ化物の安全性に関する質問趣意書」の中に、養護教諭等がフッ化ナトリウムを含有する医薬品を、その使用方法に従い溶液希釈する行為は、薬事法及び薬剤法に抵触するものではないということとであります。

市民福祉部長 実施体制がある程度できた段階で保護者への説明会へと進め施設ごとに関係者との協議を重ね理解を得て計画していきたい。同時に一斉の開始は考えていません。既に実施している県内の実施校への視察なども考えております。

ごみ処理施設の建設については、秋田県ごみ処理広域化計画に基づき、平成18年度から由利本荘市と協議を進めてきたが、諸般の事情から当市単独での施設整備となつた旨の報告がありましたが、これまでに至つた経緯について詳しくお聞かせ下さい。

市長 ごみ処理の建設については、1市10町時代から新しい施設整備とい

うことで話し合いを始めております。合併により2市誕生となり、2市のほかに県も加わり検討委員会を立ち上げ協議が始まりました。平成19年度には9回、20年度においては6回、そして21年度には4回の協議を重ねました。しかし、その後由利本荘市から平成25年度供用開始計画(案)を、諸般の事情から30年度まで延ばしてほしい旨の要請が

質問 ごみ処理施設の建設については、秋田県ごみ処理広域化計画に基づき、平成18年度から由利本荘市と協議を進めてきたが、諸般の事情から当市単独での施設整備となつた旨の報告がありましたが、これまでに至つた経緯について詳しくお聞かせ下さい。

質問 農業・農家を取り巻く環境は厳しい。産業の位置づけとしての農業に対する見解と、23年度の農業振興策について伺います。

農業の振興方策について

市長 農業は食料を供給する産業としてだけではなく、良好な農村社会を形成し発展してゆくためにも、農地が持つ多面的な機能を維持・保全してゆくことは非常に大切と考えています。

にかほ市は、県内最大の転作率拡大ということもあり、23年度当初予算では、新たな排水対策事業の創設や複合作物の生産性と品質を高めるための施策を重点事項と位置づけました。



鈴木 敏男
議員

3月定例会一般質問

ごみ処理施設の建設について

ありました。にかほ市としては年々1億円の維持費をかけていました。市としては、27

年度までに合併特例債を活用して28年4月に供用開始の整備を申し出ましたが話はまとまらず、11月の会議で由利本荘市から無理との回答がありました。

そのため、やむなく単独での事業を決定し議会に報告させていただいたところです。



佐々木 弘志
議員

総合発展計画について

質問 後期基本計画策定に検討課題として次の3件を提案いたしました。

- (1) 白瀬南極探検隊記念館に、研修・研究・交流・図書等閲覧ならびに資料等保管施設整備
- (2) 海洋深層水によるまちづくり（漁業・農業等の産業振興・企業誘致・起業促進等）
- (3) 交流（国内外・市民・文化・産業）施設、サービスエリア等施設整備

市長 (1)については、現状をもう一度よく見ながら検討します。(2)については、先進事例なども踏まえて、実現の可能性があるかどうかの研究、あるいは検討いたします。(3)については、後期基本計画の策定協議の過程の中で、いろいろと協議して行きます。

質問 実施計画の練り直し分、見直し分は何かおたずねします。

市長 学校生活サポート事業は、委託事業から直接雇用にします。新規事業として由利組合

修・研究・交流・図書等閲覧ならびに資料等保管施設整備

総合病院の受診用再来受付システム事業への補助、象潟老人福祉センターの管理設計委託、ごみ処理施設の候補地の選定と環境調査、象潟ねむの丘中核施設や温泉保養センターはまなすの大規模改修等があります。したがって、将来の財政負担の軽減を図るために、市債の繰り上げ償還にさらに取り組み、公債費残高の抑制に努めます。

質問 小出・院内小学校統合について、小・中・高一貫校、小・中・高・大連携校、にかほ市全小学校を考慮した観点も検討課題の一つに入れてはどうかおたずねします。

教育長 院内小・小出小統合検討委員会（仮称）において、将来的に想定しなければならない平沢小との統合も視野に入れた検討になります。さらに小・中一貫校の設置、あるいはにかほ市全小学校を対象とした学区再編、県立高校との中・小連携なども今後の課題になります。

総合病院の受診用再来受付システム事業への補助、象潟老人福祉センターの管理設計委託、ごみ処理施設の候補地の選定と環境調査、象潟ねむの丘中核施設や温泉保養センターはまなすの大規模改修等があります。したがって、将来の財政負担の軽減を図るために、市債の繰り上げ償還にさらに取り組み、公債費残高の抑制に努めます。

総合病院の受診用再来受付システム事業への補助、象潟老人福祉センターの管理設計委託、ごみ処理施設の候補地の選定と環境調査、象潟ねむの丘中核施設や温泉保養センターはまなすの大規模改修等があります。したがって、将来の財政負担の軽減を図るために、市債の繰り上げ償還にさらに取り組み、公債費残高の抑制に努めます。

総合病院の受診用再来受付システム事業への補助、象潟老人福祉センターの管理設計委託、ごみ処理施設の候補地の選定と環境調査、象潟ねむの丘中核施設や温泉保養センターはまなすの大規模改修等があります。したがって、将来の財政負担の軽減を図るために、市債の繰り上げ償還にさらに取り組み、公債費残高の抑制に努めます。



奥山 収三
議員

3月定例会一般質問

街路灯の照度について

質問 幾つかの集落の方々から街路灯をもつと明るい電灯に変えられないかという声が届いております。現在よりも照度の高いLED等の器具に替える計画はないのでしょうか。

試験的に実施することについては、ちょっと検討させていただきます。

質問 にかほ市の介護認定審査会は、その都度きちんと開かれているものかどうか。また、どのような構成により行われているのかお尋ねします。

にかほ市の介護認定審査会は、にかほ市と由利本荘市の場合は保険者である本荘由利広域市町村圏組合で設置することになっています。認定に係る審査及び判定を行なう保険者の付属機関として設置されております。にかほ市の介護認定審査会は、1週間に3回、月・水・金の割合で定期的にその都度きちんと開催しております。介護認定審査会の構成は、介護保険法第14条から17条の規定に基づき、保健（保健師等）・医療（医師等）の学識経験者104人の委員による7合議体から成り立っています。各合議体の認定審査を構成する委員数は5人以内と定められています。現在は一回につき4人の委員で審査を行なっています。

試験的に実施することについては、ちょっと検討させていただきます。

にかほ市の介護認定審査会は、その都度きちんと開かれているものかどうか。また、どのような構成により行われているのかお尋ねします。

にかほ市の介護認定審査会は、にかほ市と由利本荘市の場合は保険者である本荘由利広域市町村圏組合で設置することになっています。認定に係る審査及び判定を行なう保険者の付属機関として設置されております。にかほ市の介護認定審査会は、1週間に3回、月・水・金の割合で定期的にその都度きちんと開催しております。介護認定審査会の構成は、介護保険法第14条から17条の規定に基づき、保健（保健師等）・医療（医師等）の学識経験者104人の委員による7合議体から成り立っています。各合議体の認定審査を構成する委員数は5人以内と定められています。現在は一回につき4人の委員で審査を行なっています。

試験的に実施することについては、ちょっと検討させていただきます。



伊東 溫子
議員

学校給食における教育と 栄養教諭制度について

質問 にかほ市は学校給食法の改正の施行とともに平成21年4月1日に平沢小学校に栄養教諭を配置しています。同法には教育の推進が明記されていますが、その目的達成のために学校全体でどのような取り組みが行われましたか。また、その成果今後の対応について伺います。

教育長 平沢小学校では平成21年度から栄養教諭が配置されまして、食に関する全体指導に基づきさまざまな活動が行われております。学級活動での「お箸を上手に持とう、集会活動での食べ物の働きを知ろう、縦割り活動での楽しく会食をしよう」などの全校的な取り組みや、「1年生学級活動、給食楽しみだね、2年生生活科、野菜パティーを開こう、5年生総合的な学習時間、田んぼから広がる世界、6年生家庭科の時間、朝食に合うおかずを考えよう」など各学年ごと、教科等と連携した学習が行われました。栄養教諭は学級担任と連携しながら、これらの学習活動が充実したも

のになるよう、実際に児童の指導を行つたり教師へのアドバイスを行つたりしております。また、日々の給食の時間には昼の放送を通して給食指導、学校訪問における給食指導を行い、食事のマナーや偏食に対する指導も行つております。

その成果としては、一つは食に関する指導計画の策定ができること、二つ目は学級担任とのティームティーチングによる教育の学習や理科や家庭科などの教科での指導で専門的な助言ができたことがあります。また、各校の求めに応じて食育に関する資料を作成したり給食指導や食の行事での講話を行つたりしています。

今後も栄養教諭の職務の充実を図りたいと考えております。にかほ市の小・中学校10校への計画的な訪問をしたり、あるいは学校の要請に応じる指導ができるようなそういう体制づくりをして行きたいと思っています。

3月定例会一般質問

陳情

番号	陳情の件名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結果
1	最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める陳情書	秋田市中通7-2-21 秋田県春闌共闘懇談会 代表委員 中村秀也 外2名	産業建設	採 択
2	労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める陳情書	秋田市中通7-2-21 秋田県春闌共闘懇談会 代表委員 中村秀也 外2名	産業建設	採 択
3	日本弁護士連合会の意見書を踏まえ、小学校におけるフッ化物洗口事業について凍結を含む再検討を求める陳情書	秋田市川尻御休町1-9 集団フッ素洗口を考える県民連絡会 代表 渡辺 新	教育民生	不採択
4	にかほ市小中学校におけるフッ化物洗口事業についての陳情書	由利本荘市表尾崎町17-2 秋田県教職員組合本荘由利支部 支部長 猪股弥太郎	教育民生	不採択
5	2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情	由利本荘市表尾崎町17 全日本年金者組合秋田県本部 本荘由利支部執行委員長 菊地徳右衛門	教育民生	一部採択

決議・意見書

次の件について決議し、意見書については関係機関に提出しました。

- 最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める意見書
- 労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める意見書



議会活動

◇議会関係行事

年月日	行 事	場 所 等
H23. 2. 3	秋田県市議会議長会定例会	潟 上 市
2. 9	全国市議会議長会評議員会	東 京 都
2. 10	全員協議会	象 潟 庁 舎
2. 17	議会運営委員会	タ
	水と緑の研修会	秋 田 市
2. 18	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
2. 24	第2回定例会（～3月18日）	タ
2. 28	会派代表者会議	タ
3. 2	議会運営委員会	タ
3. 3	本会議（会派代表質問）	タ
3. 4	本会議（一般質問）	タ
3. 5	本会議（一般質問）	タ
3. 8	本会議（議案質疑、付託、予算特別委員会）	タ
3. 9	常任委員会、予算特別委員会（～17日）	タ
3. 18	本会議（予算特別委員会、討論、採決）	タ
3. 25	議会運営委員会	タ
3. 28	由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会	由 利 本 荘 市
3. 30	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎
4. 1	議会運営委員会	タ
4. 8	第3回臨時会、全員協議会、委員長会議	タ
4. 9	議会広報編集委員会	タ
4. 18	議会広報編集委員会	タ
4. 22	議会広報編集委員会	タ

暗い議場で審議が行われました ~ 第3回臨時会 4月8日

平成23年第3回臨時会が、4月8日に招集されました。

前日に、宮城県沖でマグニチュード7.4の地震が発生し、市内が停電していました。

また、曇り空のためうす暗い議場の中で、わずかの光を頼りに議案書や予算書に目をとおしながら、議案審議を行いました。



▲議員席側からのようす



▲議長席には電池式の蛍光灯

質疑・討論

質疑

**議案第7号
にかほ市教育サポート基金条例
制定について**

質問 地域活性化交付金から23年度の学校生活サポート業務委託料として4,700万円措置されました。減額補正し、6,000万円の教育サポート基金積み立てを提案します。学校図書事務補助員にも、この交付金を活用していくのか伺います。

答弁 学校図書事務補助員は、児童生徒の読書活動推進を図る目的で、継続して行なうために必要であり、交付金が続く限り活用していくか伺います。

**議案第22号
22年度にかほ市一般会計補正予算第7号について**

質問 社会福祉協議会運営費補助金272万9,000円の減額について、事務局長と選任職員の途中退職によるとあります。現在協議会の運営はどうな

っていますか。またそれに対しどのような対応をしてきたのか伺います。

答弁 事務局長が8月途中、選任職員が12月末から不在となつております。支所長などの職員が協力しこれまでどおり事業運営をいたしております。

対応につきましては、数名の適任者と思われる方にお願いを申し上げましたが、断られております。年度途中ということもあり、現在76名の職員で運営することとして現在まで至つております。

質問 消防費の災害対策費の中に補助金が3つあります。

木造住宅耐震診断と、その耐震結果の改修とブロック塀撤去、条件もあるのですが減つています。いろいろ理由もあると思うのですが、対策費が余り活用されていない、活かされていないということもありますので、考えていることがあれば伺います。

答弁 3つの補助金の22年度実績ですが、木造住宅耐震診断補助金、これが1件で補助金額が3万円です。木造住宅耐震改修

事業補助金、これにつきましては実績がありません。ブロック塀撤去費補助金が3件で補助金額が16万8,000円となつております。いずれも当初見込んだ件数を下回っております。理由としては、不確定な地震に対する備えまでなかなか手が回らないという事情があると思われます。22年度から始まりました住宅リフォーム支援事業の利用が盛況なことを見ますと、耐震補助事業についてはPR不足の面があるのかもしれません。12月に全戸配布しました「にかほ市地震防災マップ」、

これについても耐震診断と改修事業の実施、さらには耐震診断問診票などによって簡易自己診断を促しまして耐震化率向上の対策を呼びかけたところであります。

今後につきましては、市民には地震防災マップをもう一度見ていただき地域や自宅の状況を確認して備えていただけるように、周知を図つてまいりたいと考えています。

質問 最終処分場管理費2,9

象潟一般廃棄物処理場が一番古いものですが、現状から新たな処分場を検討する状況にあるのか伺います。

答弁 象潟一般廃棄物処分場は、昭和55年に供用を開始し30年経過した施設です。残容量については、現状の埋立量で推移すると想定した場合、今後10年ほど使用できる見込みです。また仁賀保処分場は平成16年、金浦処分場は平成15年に供用開始した施設で比較的新しいものです。このため、象潟一般廃棄物処分場の更新は考えておりません。

質問 県のフッ化物洗口推進事業補助金がありますが、これは存置になつていています。これは一体どうなるのでしょうか。

答弁 フッ化物洗口事業は、県が16年度から3年間モデル事業として実施し、23年度からは、新たに小・中学校を加え、実施の割合を最終年度の25年度までに50%以上とすることを目標に市町村に支援を行なうこととした事業です。確定はしていませんが、技術支援として、歯科衛生士を派遣し、歯科保健指導の

質疑・討論

実施や保護者への説明及びフッ化物洗口の技術指導であります。

財政支援として過去にこの事業において補助金を受けている場合の補助は2分の1以内で、上限は20万円となっております。また通算5年を補助上限としております。当初予算では市の実

施校がまだ保護者などから理解を得ておりませんので未定となつております。また県の補助内容もまだ確定しておらないため

に歳入を1,000円として存置しているところです。

質問

ふるさと雇用を利用した委託事業について、四季の農産加工品特産化事業委託料、それから、にかほ「うめもの」づくり支援事業委託料、それ両事業の22年度実績を踏まえた23年度の方針や目標を伺います。

答弁

農産物加工品特産化事業について、22年度においては、113aに作付面積を拡大し、安定した商品の提供を図っております。この商品については、百菜館カナカブ漬けとして商標登録を取得するに至っておりま

す。23年度の目標については、実

績をもとに、加工技術の標準化や安定的な素材生産の確立を図

り、24年度以降も継続実施できよう、地域農産物や山菜を活

用した加工への取り組みをさらに充実させてまいりたいとしております。ちなみに23年度のカナカブ作付面積を200aに増

やす計画であります。

耕作放棄地や遊休農地を利用し、新たな加工特産物の開発に取り組む「うめものづくり」支援事業については、にかほ市農水産支援事業組合に委託し、実施しております。この組合員は農家数が4人、工務店、飲食店等が6事業所、合計10名で構成

されています。法の一つだと考えます。

安全性については、日本でも30年以上も前から実施されています。これまで遊休農地でのワラビ、畑ワサビの実証栽培、炭入りイカの塩辛の試作など、竹炭の粉に関する利用研究などを実施しています。

23年度は新たに遊休農地を利用した放牧養豚を実施し、養豚を組み込んだ輪作体系の検証を行なうとともに、これまでの実証試験の結果をまとめ、加工特

産物としての有効性及び栽培、加工技術の確立を目指すことに

討論

反対討論

加藤 照美議員

陳情第3号
日本弁護士連合会の意見書を踏まえ、小学校におけるフッ化物洗口事業について凍結を含む再検討を求める陳情書

します。いずれこの陳情は、何が何でもやめるということではなく、十分意見を重ねた方がいいのじゃないかという立場ですので、私もメリット、デメリットには触れないで意見をたくさんいただいて行くほうがいいと思います。

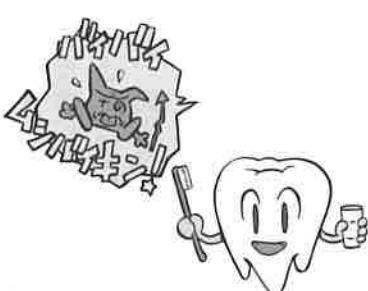
ただ一つだけ、学校関係でつけ加えますと、教育長も学校と保護者と一緒に説明をするという答弁でしたが、受け入れ体制をつくるのだとしたら、直接かかる教職員、実施する側への説明、次に実施を受ける側への説明へといくのが順番だと思いまが、そのような点が欠けているなどという思いであります。反対討論も十分聞きましたし、皆さんと一緒に考え合いたいと思いまして賛成とします。

け加えますと、教育長も学校と保護者と一緒に説明をするという答弁でしたが、受け入れ体制をつくるのだとしたら、直接かかる教職員、実施する側への説明、次に実施を受ける側への説明へといくのが順番だと思いまが、そのような点が欠けているなどという思いであります。反対討論も十分聞きましたし、皆さんと一緒に考え合いたいと思いまして賛成とします。

賛成討論

村上 次郎議員

陳情3号に賛成の立場で討論



震災で被害にあわれた 夫婦町「松島町」をお見舞い

未曾有の大地震と大津波で被災された多くの方々にお見舞い

を申し上げます。

一日も早い復興を願つております。

去る四月十三日、横山市長、

佐藤議長と一緒に被災された

「松島町」を見舞いました。

宮城県松島町は、市民の皆様

がご承知のとおり、昭和六十二

年に旧象潟町が、芭蕉や紅蓮尼

の史実でかかわりのある町とし

て「夫婦町」の盟約を締結し、

そのまま新市にかほ市に引継が

れました。人口一五、三〇〇人

で日本三景「松島」を有する一

大観光地です。

本市では夫婦町への支援として、先に災害直後の三月十二日に「災害支援第一陣」、同十三日には第二陣、同十五日には第三陣と物資支援を行いました。

このたびは、松島町役場に大

橋町長、櫻井議長を訪ね、市や

市議会をはじめ町内会等の見舞

金を贈りました。

松島町は人的被害や燃料・食

料不足もなく比較的被害は小さ

かつたようでした。それでも、

松島湾に沿った土産品店等の商

店街はほとんど閉店しており、

名産のカキの養殖いかだは流さ

れたようでした。避難状況は、

松島町で百四名、更に東松島市

から百六十六名で合計二百六十

八名を四ヶ所の公設避難所で受

入れしていました。（四月十一

日現在）地震津波の被害が、他

の三陸沿岸市町に比べて少ない

のは、松島湾内に点在する島々

が、陸に押し寄せる波の勢力を

弱めたためと専門家は分析して

いるし、住民も「島が津波から

松島を守ってくれた」と考えて

た。

”ガンバレ 東北“

このような巨大震災は全国民が被災地の方の身になって出来ることを協力することが大切と痛感した次第でした。



▲大橋町長から説明を受けました



▲がれきと化した東松島市の被災現場



▲現地で説明を受けました

ひるがえって、にかほ市を考えると、「災害に強いまちづくり」ということで地域防災計画がつくられ、防災マップなどが各家庭に配布されています。しかし要は自主防災組織を通じて「わが家の防災対策」をどう進めてゆくか、情報の伝達も含めて再点検、再認識することが大切と考えます。

更に、過度な自肅は地域経済の活力低下につながり、回り回つて被災地の復興に悪影響を与えることも考えられます。

小売業、観光業、建設業など業界と意見交換をし生活のリズムを普段通りに戻すことも肝心かと考えます。

副議長
池田好隆

委員会審査報告

総務常任委員会

当委員会に付託になりました議案第31号平成23年度一般会計予算の審査内容について報告致します。

○総務課関係

「木造住宅耐震改修、集会施設耐震改修及びブロック塀撤去関係については要望が増えれば補正対応する。また、市で運行しているバスを『にかほ市コミュニティバス』という名称で運行し、本格運行後も検討委員会等を開催し、運行状況、路線等、広告、愛称等についても検討する。矢島館合線の運行については、小出地区が交通空白地域となり、通学に必要な児童・生徒の利用ができなくなるので、バランスを考えて運行路線を設定している」と説明がありました。

○財政課関係

財産貸付については、一部のものだけが平成49年までと期間が長いことについては、30年は借地借家法の30年を、貸付料は財務規則に基づいていると説明がありました。

○企画情報課関係

縁結びめぐりあい事業については、昨年度は参加人数も少な

く中止した事業もありましたが、一組がお付き合いをしていました。また、本年度は、社会教育費の青年男女交流促進事業とタイアップし事業を開催していくと説明がありました。

○税務課関係

市税収入前年度対比5・3%減の内、市民税及び固定資産税3・6%減のようです。たばこ税は前年度対比見込みで15・6%の減と説明がありました。

○消防関係

備品購入では、ポンプ車1台とプリンターなどがあります。

また、救難ボートの購入については、水難救助用という事で、湾内或いは海水浴場等の水難救助の為のゴムボートで5人乗り程度、船外機20馬力位を付ける予定との説明がありました。

議案第21号平成22年度にかほ市一般会計補正予算（第7号）

ガス事業への貸付金5,000万円について、今回貸し付ける要因は、料金改定で見込んだだけの販売量に届いていない、原料価格が高騰している、料金設定も市民の負担を考えて設定したことから、収入が伸びず現在資金不足に陥っているからと

いうことです。

対応策としては、23年度中に

原価見直し、24年度で料金改定して単年度の黒字化を目指すとの説明でした。すぐに増収が見込られるかは予測が困難であると説明がありました。

期間を定めたところではあります。返済期日については、5年目の満期日で一括返済すると説明がありました。この一般会計から公営企業への長期の貸付を行いう場合の限度額等の制約はないということです。

本定例会で当委員会に付託された議案は、条例4件、22年度補正予算6件、23年度予算5件、陳情3件であります。条例と予算ではいずれも可決、陳情では2件が不採択、1件が一部採択と決しています。

○予算関係では、象潟老人福祉センターの設計委託料は、24年度に建て替えるためのものであり、実施にあたっては、地元の意見を十分に取り入れたものにしたいと伺っています。

フッ素洗口事業については、集団で実施することによって強い歯質の永久歯が造られむし歯が予防できる、また保護者・学校関係者の説明会を行い、理解を得てからこの事業を実施したいと伺っています。

ゴミ処理場の建設については、本年度中に、適地選考を行い建設場所を決定し、合わせて業者の選定を行いこの事業を進めてまいりたいと言う説明を受けております。

○条例関係では、学校生活サポート支援員、学校図書員を市の臨時職員として雇用するため光をそそぐ交付金を活用して、基金に積み立て財源として活用するものです。

簡易水道条例の一部を改正する条例では、大竹、前川簡易水

道を上水道に統合するものになります。これにより給水対象人口は、大竹地区312名、大飯地区24名、前川地区254名となります。

補正予算関係では、インフルエンザワクチン接種の減額は、

市内に大きな流行もなく、接種が予想より少なかつたためのものです。

○予算関係では、象潟老人福祉センターの設計委託料は、24年度に建て替えるためのものであり、実施にあたっては、地元の意見を十分に取り入れたものにしたいと伺っています。

教育民生常任委員会

総務常任委員長
伊藤 知

議案第21号平成22年度にかほ市一般会計補正予算（第7号）

ガス事業への貸付金5,000万円について、今回貸し付ける要因は、料金改定で見込んだだけの販売量に届いていない、原料価格が高騰している、料金設定も市民の負担を考えて設定したことから、収入が伸びず現在資金不足に陥っているからと

○条例関係では、学校生活サポート支援員、学校図書員を市の臨時職員として雇用するため光をそそぐ交付金を活用して、基金に積み立て財源として活用するものです。

教育民生常任委員長
小川 正文

委員会報告

産業建設常任委員会



▲冷たい風の中での耕起作業

23年度一般会計と特別会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）と事業会計（ガス・水道）予算・22年度の各会計の補正予算の議案について審査し、いずれも全員の賛成で可決しました。審査の主な内容です。

一般会計予算について

○水田利活用推進について、水田転作の重要な施策として大豆などの戦略作物拡大に向けて排水機能の強化を図るため「もみ殻を利用した暗渠事業」が新たに予算化されました。

○水産振興のための漁業経営安定資金貸付金の予算が、22年度

1億2,500万円から1,5

00万円減額されました。これは貸付が50件の7,800万

円で、減額しても余裕があるた

めです。今後必要になれば補正

予算で対応する方針です。

○商工振興費の共同受注システム事業について、事業化に向けた規模を、9月までの上半期をめどに判断することにしていま

す。

○大雪で排雪の要望が多く、小型ロータリー車を一台増やすため努力、協議しています。

○観光物産センター整備構想検討委員会と構想をまとめる委託

予算について、日沿道の象潟イ

ンターが出来る前にこの施設を完成させることが目的です。市長は諸条件から道の駅周辺を整備した方が良いとの考えですが、検討委員会では白紙からの



▲ガス水道局

検討になります。

ガス事業について

○運転資金として、年度当初5,000万円を金融機関から

一時借入れしています。三月末までに返済することになるの

で、一般会計から長期借入れをして返済します。24年度に料金改定計画があり、委員から、「料金改定にあたっては、需要家に十分な説明と理解を求めてから進めるべき」と意見がありました。

指定管理者の指定について

○「ねむの丘」と「はまなす」は、にかほ市観光開発株が指定管理者として、市と契約を結んで経営して来ましたが、今後5年間の経営も選定委員会で選定され、本委員会においても可決しました。

議会広報編集委員会

産業建設常任委員長

竹内 賢

委員 宮崎 信一

「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。

市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎市民サービスセンターで公開しています。お気軽にご覧下さい。

後記